

天井

フォレストシーリングシステムの採用



フォレストシーリングシステムは、従前のライン型システム天井に比べて天井内の構造部材が少なく照明機器も薄いことなどから、天井高を40 mm上げることが可能。

床

フォレストフロアの採用



フォレストフロアは、支持脚等の工夫によりパネルの板厚を、従来より、10 ~ 15 mm程度薄くしました。



フォレストシーリングシステムおよびフォレストフロアの採用により、天井高を確保しながら、有効な床配線スペースの確保を実現。